

Program 2 A Trip to Finland

本単元で育成する資質・能力

課題解決力・対話力・学びを振り返る力

- 1 日時 令和元年6月19日(水) 5校時
- 2 学年 第2学年(男子11人 女子6人 計17人)
- 3 単元名 Program2 A Trip to Finland
- 4 本単元を指導するにあたって

(1) 単元観

本単元では、中学校新学習指導要領の(3)話すこと「発表」のア「関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。」を指導する。

6月7日に行われたアメリカス市の高校生・中学生との交流の際、Mission Possibleとして2年生はアメリカス市の生徒へインタビューした。インタビューの内容を質問形式で答えていくパフォーマンス課題を設定し、インタビューで得た情報を即興で伝えていく。また本単元では、由紀が交流プログラムでフィンランドへ行く計画を友だちのマイクと話し、その後フィンランドに行つて由紀がマイクに手紙を書くという場面が設定してある。言語材料として、予定 **be going to** や意志を表す時の表現 **will** を扱う。実用的な基本表現の習得に加え、条件に応じて即興的に対応する場面を提供できる単元である。

(2) 生徒観

本学年は、小学校から外国語活動に積極的に取り組み、また外国の人との交流をととても楽しみにしている。6月にあるアメリカス市の高校生との交流や、7月のインターナショナルデーでの外国の方へのインタビュー活動を通して、英語を通して異文化に触れたり、外国の方とコミュニケーションをととても意欲的に取り組んできた。三次市学力到達度テストにおけるアンケート結果では、「英語の勉強は好きですか」に対する肯定的回答は72%、「英語の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか」に対する肯定的回答は88%であり、学校行事などを通して英語を役立てることができると感じている生徒が多いことが分かる。「書く」ことにおいては、語形・語法の知識・理解や単語の並び替えによる英作文の正答率が50%台であるため、話すことから書くことへの活動を増やし、定着させていく必要がある。クラスは全体的に元気が良く、発表もできるだけしようとがんばっている。学習に支援が必要な生徒もおり、グループ活動などを通して協働して高め合っていけるよう取り組んでいきたい。

指導観

指導にあたっては、6月7日に行われたアメリカス市中学生・高校生との交流会でインタビューを行い、そのインタビューを元にアメリカス市の友達の紹介をするという課題を与える。インタビューした内容を、質疑応答形式で答えていくことで、即興で話す力をつけていきたい。その後、話した内容を作文することで、文法的な構造や語彙を確認し学習事項を定着させていきたい。またインタビューを通して単に質問するだけでなく、会話をつなげていくことを事前に指示しておき、これから英語でコミュニケーションを取る際に必要な会話を継続する力や態度を育てていきたい。

5 単元の目標

- 相手に伝えようと積極的に聞いたり、話したりしている。
- 新出表現や既習表現を用いて情報を即興で伝え合うことができる。

- 本文に書かれている内容を正しく理解する。
- 未来形を正しく用いて話したり，書いたりする。

6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
<p>・相手に伝えようと積極的に聞いたり，話したりしている。</p>	<p>①新出表現や既習表現を用いて，情報を即興で伝え合うことができる。</p> <p>②対話を継続するために相づちや質問などしている。</p> <p>③新出表現や既習表現を用いて，正しく書くことができる。</p>	<p>・本文に書かれている内容を正しく理解する。</p>	<p>①未来形 be going to と will の用法を理解している。</p> <p>②未来形を用いて正しく話したり，書いたりしている。</p>

7 本単元を通して伸ばしたい資質・能力

①課題解決力

班で協力してアメリカス市の友達について聞き手に分かりやすく紹介できる。

②対話力

自分の考えや思いなどを，新出表現や既習表現を適宜用いて他者にわかりやすく伝えることができる。

③学びを振り返る力

自分の学びを振り返り，これまでの学習内容と関連付けて，次の学習につなげることができる。

8 指導及び評価の計画(全10時間)

次	学習内容 (時数)	評 価					
		関	表	理	知	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
1	○未来形 be going to の導入 ○既習事項や未来形を用いてインタビューの質問文を考える。			○		ア (行動観察) エ②	ワークシート
2	○インタビューの質問文を考える。 ○インタビューの練習をする。	○				ア (行動観察)	対話力 (行動観察)
3	【パフォーマンス課題】(1) ○アメリカス市の生徒にインタビューし、必要な情報を得る。	○				ア (行動観察) イ② (行動観察)	対話力 (行動観察)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>パフォーマンス課題 アメリカス市の友だちにインタビューし、必要な情報をゲットせよ！</p> </div> <p>・5分間のインタビューで、会話を継続させながらインタビューする。</p>						
4	○相手の週末の予定を尋ねる small talk を行う。 ○本単元の新出語句・基本表現について学習する。will の導入				○	ア (行動観察)	
5	○Program2①の本文の内容を理解する。 ・由紀とマイクの会話を聞いて、由紀の予定を読み取る。			○		ウ	ワークシート
6	○Program2②の本文の内容を理解する。 ・由紀とマイクの会話を聞いて、由紀がフィンランドでやりたいことを読み取る。			○		ウ	ワークシート
7	○Program2②の本文の内容を理解する。 ・由紀とマイクの会話を聞いて、由紀がフィンランドでやりたいことを読み取る。			○		ウ	ワークシート

8 (本時)	【パフォーマンス課題】(1) ○パフォーマンス課題に取り組む。	○	○		ア, イ① (後日スピーキングテスト)	課題解決力
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> パフォーマンス課題 アメリカス市の友達を紹介しよう！ </div> ・グループで応答形式でインタビューをもとにアメリカス市の友達を紹介する。 ○振り返り					学びを振り返る力 (振り返りシート)
	ループリック					
	A	即興的に、自然な間で適切な応答ができる。				
B	即興的に、多少時間はかかるが概ね適切な応答できる。					
C	Bに達しない。					
9	○インタビューで得た情報を作文する。		○		イ③	ワークシート
10	総復習 Program2で学習した表現について復習する。			○	エ①②	期末テスト

9 本時の展開

(1) 本時の目標

アメリカス市の友達の情報を聞き取り、クラスの友達につたえることができる。

(2) 観点別評価規準

相手に伝えようと積極的に聞いたり、話したりしている。【ア】

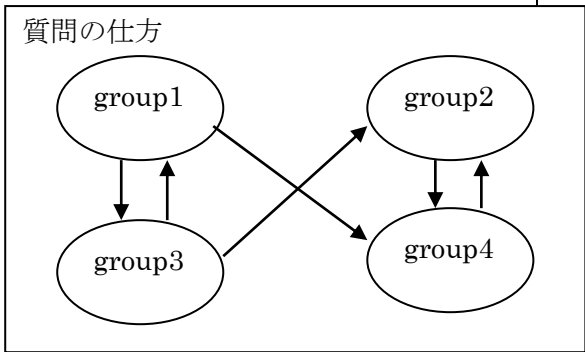
新出表現や既習表現を用いて、即興で伝え合うことができる。【イー①】

(3) 準備物

電話機 (各グループ), 振り返りシート, 電子黒板

(4) 学習の展開

	学習内容 (活動)	主な発問・指示 (○) 予想される生徒の反応 (☆) 「C」と判断される生徒への手だて (★) 指導上の留意点 (●)	評価規準 (◇) 資質・能力 (◆) (評価方法)
導 入	1 グループでウォーミングアップをする。 Small talk “What are you going to do this weekend ?” 2 挨拶をする。 担当グループが曜日, 日付, 天気, 時刻について質問し, 他生徒が答える。	○グループごとにウォーミングアップ活動ができているか見る。 ○挨拶をする。	
展 開	3 本時の課題を確認する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 【本時のめあて】 アメリカス市の友達を紹介しよう！ </div> 4 班で発表の練習・打ち合わせをする。(3分) 【課題解決力】【自己存在感】 5 各班でお互いのインタビューしたアメリカス市の友達について説明する。 ・2グループで質問と応答をする。 ・アメリカス市の友達紹介を聞いたグループは, 聞いた情報をクラス全員に発表する。 【自己存在感】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ☆交流の視点 ・情報を正確に聞き取っていたか。 ・即興的に概ね正しく伝えることができたか。 ・声の大きさ, アイコンタクト, 表現現力は良かったか。 </div>	○班で練習するよう指示する。 ★机間指導をして, 個別のサポートをする。 ○発表するときに必要な態度 (声の大きさ, アイコンタクト, 表現力, 紹介の内容) を見るように指示する。 ○聞いた情報が正確か, インタビューしたグループに確認する。	◇情報を即興で伝え合うことができる。 ◆発表の観察



展 開	<p>発表の例</p> <p>We'll introduce a friend from Americus.</p> <p>Her name is Mary.</p> <p>She is 14 years old.</p> <p>Her hobby is swimming.</p> <p>She went to Miyoshi to see the Mononoke museum last weekend.</p> <p>She is going to visit New York this summer.</p> <p>In the future, she wants to be a nurse.</p>		
ま と め	<p>6 アメリカス市交流のインタビュービデオを見て、会話継続のためのポイントを確認し、インターナショナルデイにつなげる。</p>	<p>○インタビューした時の様子や紹介を発表したことを振り返らせる。</p> <p>「インタビューで会話を継続させるための工夫をしたか。」「笑顔・アイコンタクトなどコミュニケーションに必要な態度でできたか。」</p>	
振 り 返 り	<p>6 振り返りをする。</p>	<p>○本時の目標に対しての振り返りをする。</p> <p>☆Iを she や he などに置き換えて発表するのが難しかった。</p> <p>☆聞き手にわかりやすい声で発表できた。</p>	<p>学びを振り返る力 (振り返りシート)</p>

10 板書計画

<p>本時の目標</p> <p>アメリカス市の友達をみんなに紹介しよう。</p> <p>インタビューの情報を、相手に分かりやすく伝えよう。</p>
